

運び屋 (The Mule)

観賞日 2025年12月22日 上映時 116分

【概要】

制作 2018年 アメリカ
監督 クリント・イーストウッド
脚本 ニック・シェンク
音楽 アルトゥロ・サンドバル
撮影 イブ・ベランジェ
出演 クリント・イーストウッド (アール・ストーン)、ブラッドリー・クーパー (バイツ捜査官)
ローレンス・フィッシュバーン (主任捜査官)、マイケル・ペニヤ (トレビノ捜査官)
アンディ・ガルシア (ラトン)



【あらすじ】

2005年、アメリカ中西部イリノイ州。退役軍人のアール・ストーンは娘のアイリスの結婚式をすっぽかし趣味の花の品評会に出席、一等賞を取り仲間の喝さいを浴びていた。

それから12年。今度は孫娘のジニーの結婚式に出席するが、別れた妻のメアリーやアイリスからさんざん非難を浴びる。そんな時、安全運転が自慢のアールに「走るだけで高額が稼げる」という話が持ち込まれ、借金に苦しんでいたアールはその話に飛びつく。何回か運ぶうち、積み荷が麻薬であることに気づくが、その後も、運び屋を続けるアールは借金を返済し、経済的にも豊かになり、家族からの信頼も取り戻す。運び屋としての功績を認められたアールは組織のボスからも慰労される。しかし、ボスが殺されると組織の方針も変わり、それについてアールの気持ちも変わり始める。仕事の最中にかかってきた電話。過去の失敗に懲りていたアールは組織の掟を破って、メアリーのもとに駆け付けるが・・・。

C・イーストウッド 88歳の監督・主演作品。実話に基づく映画。

【解説】

■ポイント

●C・イーストウッド監督・主演作品（主なもの）

公開年	作品名	公開年	作品名
1973年	荒野のストレンジャー	1995年	マディソン郡の橋
1977年	ガントレット	2004年	ミリオンダラー・ベイビー
1983年	ダーティハリー4	2008年	グラン・トリノ
1992年	許されざる者	2018年	運び屋

●原題のMuleとは

頑固者、密売人・・・

■見どころ

●C・イーストウッド 88歳（公開時）の存在感

●捜査官と密輸団との戦い

そのさなかの捜査官と運び屋。知らない同士の何気ない会話

●仕事と家族

男にとっての仕事と女にとっての家族